



日本共産党

西宮市議会議員

2021年11月

得意のフットワークで要求実現

No.191

# まつお 正秀のかわら版

自宅 能登町 12 - 58 - 412 能登レックスマンション Tel・Fax73 - 0775

携帯 090 - 6960 - 4570 議員団控え室 Tel35 - 3368 Fax22 - 7815

西宮議員団ホームページ (まつおの活動紹介あり) <http://nishinomiya.jcp-giin.net/>

ブログはアメーバブログで「まつお正秀の雑記帳」です

## ごみ処理センター(焼却炉)統合案が浮上

芦屋市との焼却施設統合破談で新たな検討案として

**芦屋市との焼却施設統合破談で新たな案が**

この4月号(裏面)で書いた芦屋市と西宮市西部ごみ焼却場統合の協議破談。このことを受け、東部(鳴尾浜)の焼却施設と建て替え時期が迫っている西部(西宮浜)の焼却施設を統合して整備する案が11月4日、環境局などを所管する民生常任委員会に報告されました。国は20年以上前からごみ処理施設について、自治体をまたがる広域化や域内での集約化を求めており、その流れを受けての提案だと思われます。**国が進める大規模化で本当にいいのか?**

市はもともと、西部にある老朽化した破碎選別(燃やさないごみなどの)



施設を東部敷地に新設し、その跡地に現西部焼却施設を稼働させながら新設し完成と同時に移転する予定でした。ところが約6年前から施設の更新時期が近い芦屋市と西部施設の統合案が浮上。4年余りの協議をしてきました。合意ができずに破談。今回新たに東部と西部の焼却場統合案が出てきたわけです。一つに統合することで総合的な建設費減や売電収入額の増、さらには温室効果ガ

スも減らせるとなると、いいことづくめと思われる。それが敷地が狭い中で大規模化するとメンテナンスがやりにくく、ごみ搬入車の集中などに加え、本当にごみの削減に資するのかが、災害の時に大丈夫なのかなど、検証を行いなから進めていく必要があります。

**パブリックコメントは来年6月頃に**

市は来年3月までに整備基本構想をまとめ、6月頃にパブリックコメントを行う予定としています。皆さんも関心を持っていたら、意見を提出していただきたいと思います。

困った時は日本共産党 上記まつお迄 活動報告は上記の議員団ホームページから  
まつおの議会質問詳細(答弁含む)等は西宮市役所ホームページの「市議会会議録」検索で

# 丹波少年自然の家のあり方についての議論が

教育の一環として小学校5年生の子どもたちが自然に親しむ自然学校。西宮市は市が保有する「山東自然の家」と、阪神7市1町や丹波市、丹波篠山市などの広域で運営する「丹波少年自然の家」の両方で実施。この「丹波少年自然の家」についてはその管理費用などの負担の在り方（利用頻度とかでなく人口割が大）について議論が交わされ、尼崎市（尼崎市も市保有の同様施設あり）と西宮市が4年前に見直しを求めていました。が、なかなかその結論が出ないことに業を煮やした尼崎市から昨年2月、2022年度末で脱退の申し入れがありました。西宮市や尼崎市のように代替の施設を持っていない自治体もあり、今のまま尼崎市が脱退すれば西宮市の負担がさらに増えることもあり、西宮市としては脱退も視野に、早急な見直しを進めていくことになっています。議会もその推移を見守りながら都度報告を受け、意見を述べていくこととなります。

## 健康あれこれ 115回 フットエイジング⑤

**巻き爪**になった方ことがある方も多と思います。思春期に体重が増加し、部活動などで運動量が増える時に、また、中学、高校、社会人のそれぞれ1年目と、高齢期で初発するケースも多いのだとか。なぜ1年目かという点、指定靴や履きなれない靴の影響で、社会人では立ち仕事が多くなることその要因。まき爪は、爪のカーブがひどくなって皮膚に食い込んで行くと思われがちですが、多くは親指であるという点で、こちらも根本は足の骨格構造のゆがみ。運動や体重などによる下からの力が親指を横転させ、結果的に爪が肉に食い込んでいるそうです。高齢でなる場合は股関節と足首の柔軟性低下が主な要因らしいですヨ。

## 食べ物豆知識 177回 アスパラガス

料理の「脇役」感があるアスパラガス。疲労回復やスタミナ増強効果があるとされるアスパラギン酸はよく知られていますが、「アスパラプチンA」という物質に降圧効果があることが判って注目されています。これは横浜市にある理化学研究所における実験で、高血圧マウスにこの物質を投与したところ、1時間後に血圧が低下し、2時間後にはさらに最大の降圧作用が確認されたそうです。この作用は3時間後に減少に転じ、2日後には元の血圧に戻ったそうで、継続して摂るといいかもですネ。

## まつお正秀の「ラム

衆議院選挙が終わりました。今回の選挙では野党共闘が大きく前進して、一本化をした小選挙区214のうち、59で勝利をしました。一方、自民が単独過半数を得、維新の会が躍進しました。今回の共闘を恐れた人たちは、野合だとか、共産主義の政策が持ち込まれるなど、悪質な宣伝も行いましたが、9月8日に確認された4野党の共通政策の20項目を読んでいないのではないかと疑わざるを得ません。どれもがアベ・スガ政治を根本的に変えるもので、立憲主義を取り戻し、政治の私物化をなくすなど、今の政治を前に進めこそすれ、共産主義などどこにも書かれていません。その政策を有権者に十分に伝えきることができなかつた反省点はありますが、我が党が目指す政権は連立しかなく、という立場は揺らぐものではありません。共闘の絆をどう強く太くしていくのか。これは地方組織や地方議会にも問われており、私もその発展に力をつくすつもりです。